

(鹿児島市)

糖鎖ナノバイオテクノロジーに基づき、感染性のあるウイルスを高感度で迅速に検出できるPCR検査システムを完成させました。

2003～2006年に現代表取締役がプロジェクトリーダーを務めた科学技術振興機構の「プレベンチャー事業シュガーチップR&D」の成果に基づき、2006年9月21日に創業した開発研究型の鹿児島大学発ベンチャー会社です。糖鎖の化学生物学をナノバイオテクノロジーと合体させ、ウイルスの高感度検査法を発明しました。そして、新型コロナとインフルエンザを同時に検査診断できる体外診断用医薬品を開発し、2020年10月に薬機承認、2020年11月に保険収載を受けています。



代表取締役 隅田 泰生

会社概要

2024年3月現在

■所在地	〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学VBL内
■TEL	0798-47-6612
■FAX	0798-47-6612
■E-Mail	sales3@sudxbiotech.jp
■URL	www.sudxbiotech.jp

■代表者	代表取締役 隅田 泰生
■設立	2006年(平成18年)9月
■資本金	9,000万円
■従業員数	10人
■事業概要	ウイルスの高感度検査用試薬とPCR測定用機器の製造と販売
■主要製品	体外診断用医薬品

SGNP nCoV/Flu PCR 検出キット (体外診断用医薬品)

検体中の感染性を保っているウイルス粒子を糖鎖ナノ粒子とマイクロマグネットで捕捉・精製・濃縮し、新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスA型およびB型を同時に検査できる薬機承認を得た体外診断薬です。ウイルス粒子を濃縮するため、高感度でかつ偽陽性判定のない高精度の検査診断が可能になりました。歯周病の検査、鳥インフルエンザウイルス、豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルス(PRRSV)、豚流行性下痢ウイルス(PEDV)などの家畜のウイルス病へも応用しています。



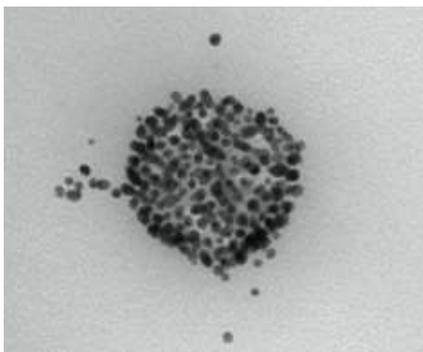
キットの写真

高速PCR測定装置MuSER

SGNP nCoV/Flu PCR 検出キットを使用して、測定時間36分で、50～100コピー以上のウイルスの遺伝子をPCRで測定できます。電気炊飯器程度の大きさで、最大6検体を同時に測定できるので、利便性が良く、患者さんを長く待たせることなく、オンタイムで高感度のPCR検査が可能になりました。澁谷工業株式会社との共同開発品で、一般医療用機器(届出番号17B1X00002000002)です。



MuSER



糖鎖ナノ粒子により捕捉されたPRRSVウイルスの電子顕微鏡写真